

## 平成 21 年度「学生による授業アンケート」集計結果

授業アンケート実施部会

## 「学生による授業アンケート」の調査結果

### (1) 質問項目の構成

「学生による授業アンケート」(以下、授業アンケート)の質問項目は、学生自身についての「授業態度」の評価(3項目)、学生による「授業の内容」への評価(6項目)、「教員の取り組み」への評価(12項目)の3因子21項目に加え、「総合評価」(1項目)の計4領域から構成されている。各項目は「1:全くあてはまらない」～「5:よくあてはまる」の5段階評定で回答を求めるようになっている(資料1)。

### (2) 調査対象

本年度の授業アンケートは、春期開講科目および秋期開講科目を対象に、各々平成21年7月6日から31日、平成21年12月14日から平成22年1月22日にかけて実施した。

調査を実施した教員は、常勤140名(140名中)、非常勤78名(84名中)、計218名であった。調査を実施した科目数は589科目(615科目中)であった。

授業アンケートへの回答数は、本年度は21037件(20年度は17645件、19年度は16408件)であった。平成21年5月1日現在の本学に在籍する学部生が2492名であることから、1人の学生につき平均約8.4科目回答していることになる(昨年度は6.5～6.6科目)。

### (3) 本年度の授業アンケートの結果、および20年度、19年度との比較

①「学生の授業態度」(満点15点)は $11.9 \pm 2.3$ で、20年度は $11.6 \pm 2.3$ 、19年度は $11.4 \pm 2.2$ であった。

②「授業内容」(満点30点)は $24.4 \pm 5.1$ で、20年度は $23.8 \pm 5.1$ 、19年度は $23.2 \pm 5.0$ と高い得点を示しており、毎年度0.6ポイントずつ得点が上昇している。

③「教員の取り組み」(満点60点)は $49.7 \pm 9.6$ で、20年度は $48.8 \pm 9.4$ 、19年度は $47.1 \pm 9.7$ と高い得点を示しており、昨年度比では0.9ポイントの上昇、一昨年度比では2.6ポイントの上昇となっている。

④「総合評価」(満点5点)は $4.2 \pm 0.9$ で、20年度は $4.1 \pm 1.0$ 、19年度は $4.0 \pm 1.0$ であった。

以上、①～④すべての因子・領域の得点において、標準偏差は年度が変わってもほぼ不変であり、安定性の高い回答傾向であると思われる。さらに、この3年間僅かずつではあるが、いずれの領域も一貫して得点が前年度を上回っている。②～④はいずれの領域も一様に高い評価を得ており、本学の授業は一定の高い評価水準で維持されているものと考えられる(表1)。

### (4) 「教員の取り組み」と「総合評価」の関連

各因子のうち、「授業態度」は学生自身についての評価であり、授業評価と直接的な関係

にはない。一方、「授業の内容」や「総合評価」は「教員の取り組み」の結果によって影響を受けると考えられる。さらに、教員が授業改善の努力をする際に具体的な手がかりとなるのは、「教員の取り組み」に含まれる各項目であると考えられる。

したがって本報告では、教員の取り組みを改善する視点から、「教員の取り組み」因子に含まれる項目のうち、いずれが「総合評価」に大きく関連するのかを統計学的に検討した。

そこで、「教員の取り組み」因子に含まれる質問項目の評定値を説明変数、「総合評価」の評定値を目的変数とした重回帰分析（ステップワイズ法）を行ったところ、表 2 のような結果が示され、4項目が抽出された。抽出された項目の内容は、「10. 教員は授業内容をわかりやすく説明していた」、「15. 教員は授業を受けやすい環境をつくっていた」、「13. 教員は学生の理解に合わせた授業をしていた」、「7 教員は授業に対して熱意や意欲があった」であった。項目 10. と 13. は一見、質問内容が似通っているが、13. が「授業内容の選択」や「進捗」の適切さを示しているのに対し、10. は教員が選択した授業内容について「どの程度わかりやすく説明していたか」を示しているものと考えられた。

これらの4項目の示す自由度調整済み  $R^2$  値は 70.2% であり、つまり「総合評価」の値について、データの変動の約 70% がこの4項目で説明できることが示された。

平成 20 年度、19 年度の分析結果も本年度とほぼ同一で、本年度とまったく同じ4項目が抽出され、 $R^2$  値も 20 年度が 68.7%、19 年度が 70.4% と約 70% を示していた。このように、毎年、教員や授業科目、そして評定する学生が変わっているにも関わらず、3 年間を通じてほぼ同一の結果が得られたことは、通常の研究では稀に見る安定的な結果である。つまり、この4項目が「総合評価」に対して大きな関連性を持つと判断できよう。

したがって教員は、特にこれら4つの点に改善努力の照準を合わせることで、学生の授業に対する評価が高まる可能性が大きいと考えられる。さらに、これら4項目は平成 20 年度の教員へのアンケート結果において「教員が授業改善に役立ったと考える項目」の上位にも含まれている。そこで、今後の質問項目の見直しに際しては、これらの4項目を概念的な柱としてゆくことが望ましいと考えられる。

なお、教員が所属する学科ごとに「学生による授業評価アンケート」を集計した結果を図 1 に示した。

表 1 授業アンケートの対象および集計結果 (平成 21 年度、20 年度、および 19 年度)

	21 年度	20 年度	19 年度
調査対象			
学生数 (延べ人数)	21,037	17,645	16,408
科目数	589	621	482
教員数	218	230	—
集計結果 (平均±SD)			
学生の授業態度 (配点 15)	11.9±2.3	11.6±2.3	11.4±2.2
授業の内容 (配点 30)	24.4±5.1	23.8±5.1	23.2±5.0
教員の取組み (配点 60)	49.7±9.6	48.8±9.4	47.1±9.7
総合評価 (配点 5)	4.2±0.9	4.1±1.0	4.1±1.0

表2 「総合評価」の評定を目的変数とした重回帰分析の結果（平成21年度、20年度、および19年度）

	21年度		20年度		19年度	
	B*	$\beta$	B*	$\beta$	B*	$\beta$
定数	0.41		0.42		0.44	
質問項目						
わかりやすい説明	0.26	0.29	0.27	0.31	0.29	0.32
授業を受けやすい環境	0.23	0.25	0.22	0.23	0.21	0.23
学生の理解にあわせた授業	0.22	0.20	0.20	0.22	0.20	0.22
教員の熱意や意欲	0.20	0.23	0.22	0.20	0.22	0.20
調整済み R2 (%)	70.2		68.7		70.4	

\*  $p < 0.0001$ .

注：分析はステップワイズ法を用いた。

図1 「学生による授業アンケート」の学科ごとの集計結果

学 部	学 科
社会	国際社会 ビジネス・コミュニケーション スポーツ社会
保健科学	看護 理学療法 作業療法
社会福祉	社会福祉 子ども福祉
環境経営	国際環境
心理	臨床心理
文化財	文化財修復国際協力
その他	非常勤

学科名：国際社会

対象教員数：8

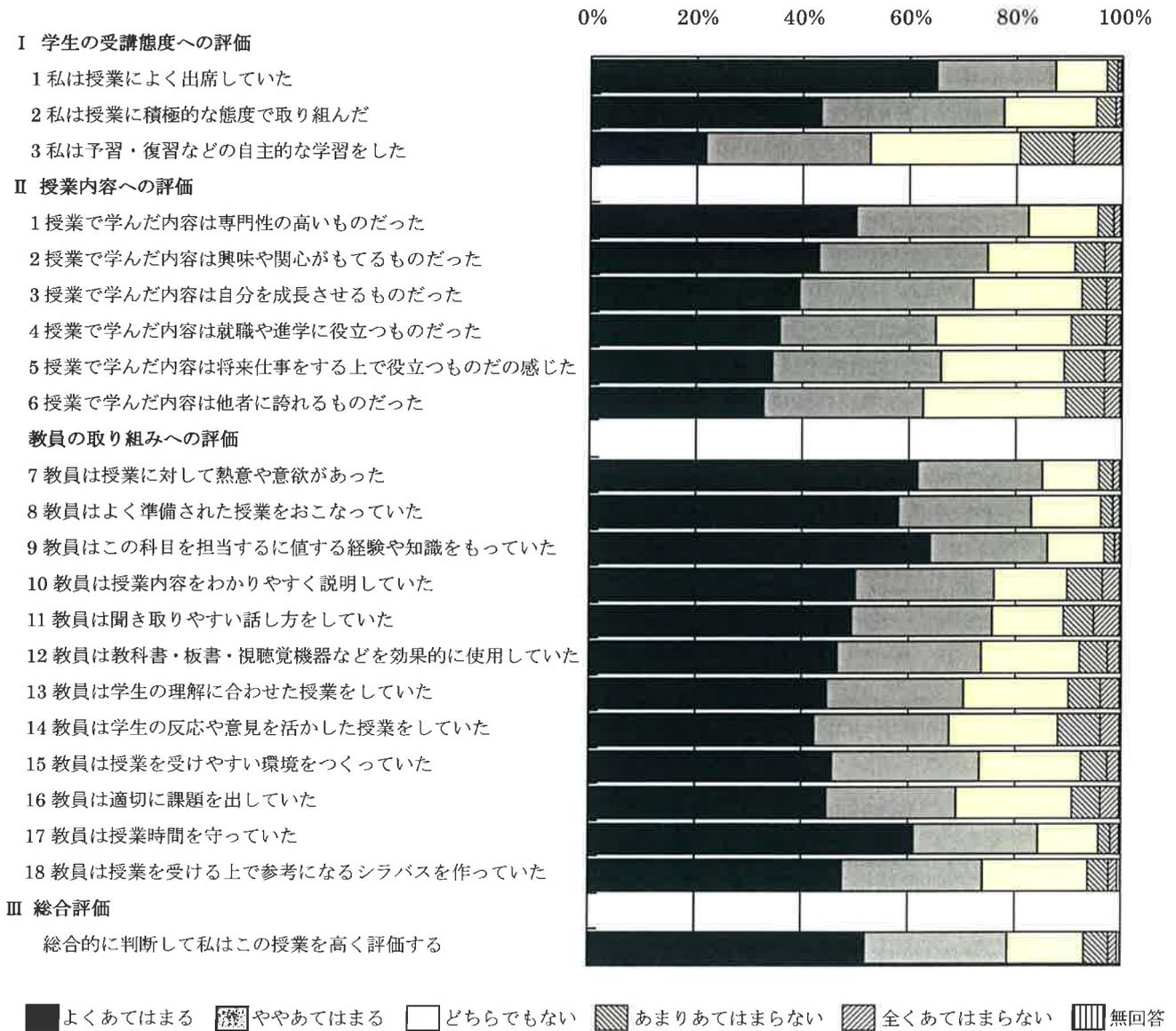
対象科目数：31

対象学生数（延べ人数）：1209

EST カテゴリーの平均値（標準偏差）

EST カテゴリー	配点	平均値（標準偏差）	100点換算
I 学生の授業態度への評価	15	12.1 (2.5)	80.7
II 授業内容への評価	30	23.9 (5.3)	79.7
III 教員の取り組みへの評価	60	50.0 (10.2)	83.3
III 総合評価	5	4.2 (1.0)	84.0

分布比率



学科名：ビジネス・コミュニケーション

対象教員数：8

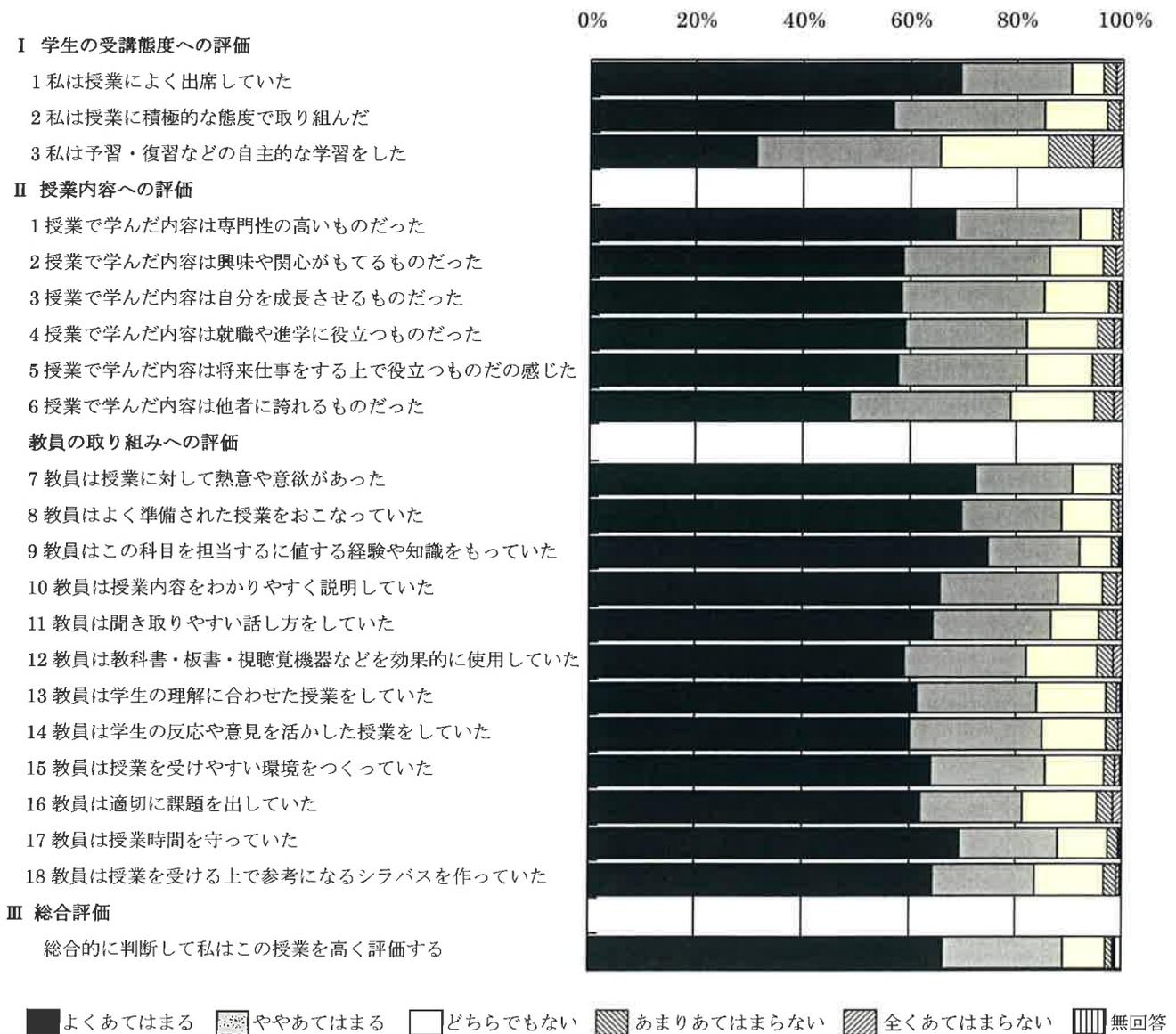
対象科目数：28

対象学生数（延べ人数）：1000

EST カテゴリーの平均値（標準偏差）

EST カテゴリー	配点	平均値（標準偏差）	100点換算
I 学生の授業態度への評価	15	12.7 (2.3)	84.7
II 授業内容への評価	30	26.3 (4.5)	87.7
III 総合評価	5	4.6 (0.7)	92.0

分布比率



学科名：スポーツ社会

対象教員数：13

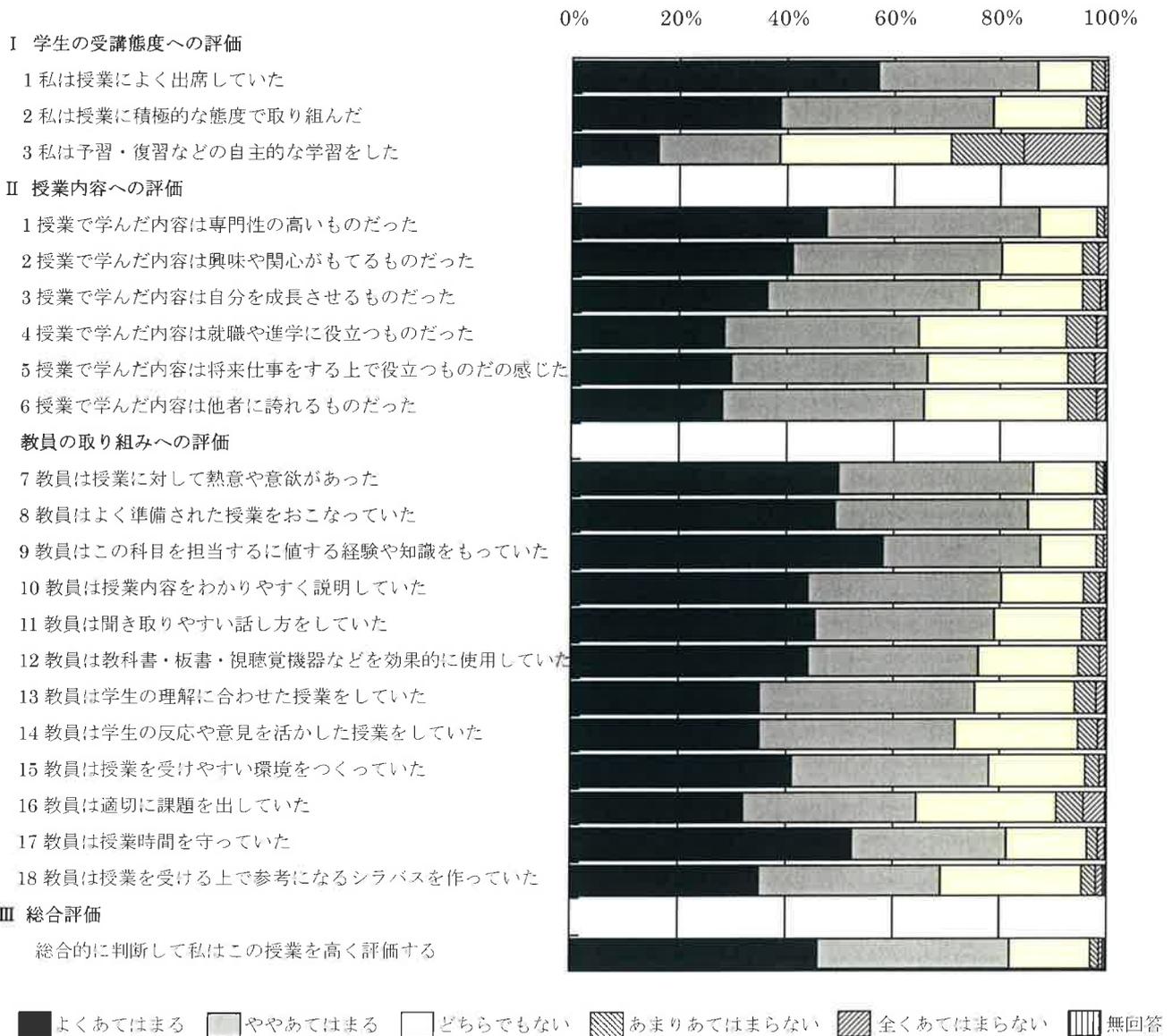
対象科目数：42

対象学生数（延べ人数）：1928

EST カテゴリーの平均値（標準偏差）

EST カテゴリー	配点	平均値（標準偏差）	100点換算
I 学生の授業態度への評価	15	11.6 (2.4)	77.3
II 授業内容への評価	30	24.1 (4.5)	80.3
III 教員の取り組みへの評価	60	49.8 (8.4)	83.0
III 総合評価	5	4.3 (0.8)	86.0

分布比率



学科名：看護

対象教員数：13

対象科目数：43

対象学生数（延べ人数）：1659

EST カテゴリーの平均値（標準偏差）

EST カテゴリー	配点	平均値（標準偏差）	100点換算
I 学生の授業態度への評価	15	12.2 (2.0)	81.3
II 授業内容への評価	30	25.1 (5.0)	83.7
III 教員の取り組みへの評価	60	48.1 (10.4)	80.2
III 総合評価	5	4.1 (1.0)	82.0

分布比率

I 学生の受講態度への評価

- 1 私は授業によく出席していた
- 2 私は授業に積極的な態度で取り組んだ
- 3 私は予習・復習などの自主的な学習をした

II 授業内容への評価

- 1 授業で学んだ内容は専門性の高いものだった
- 2 授業で学んだ内容は興味や関心がもてるものだった
- 3 授業で学んだ内容は自分を成長させるものだった
- 4 授業で学んだ内容は就職や進学に役立つものだった
- 5 授業で学んだ内容は将来仕事をする上で役立つものを感じた
- 6 授業で学んだ内容は他者に誇れるものだった

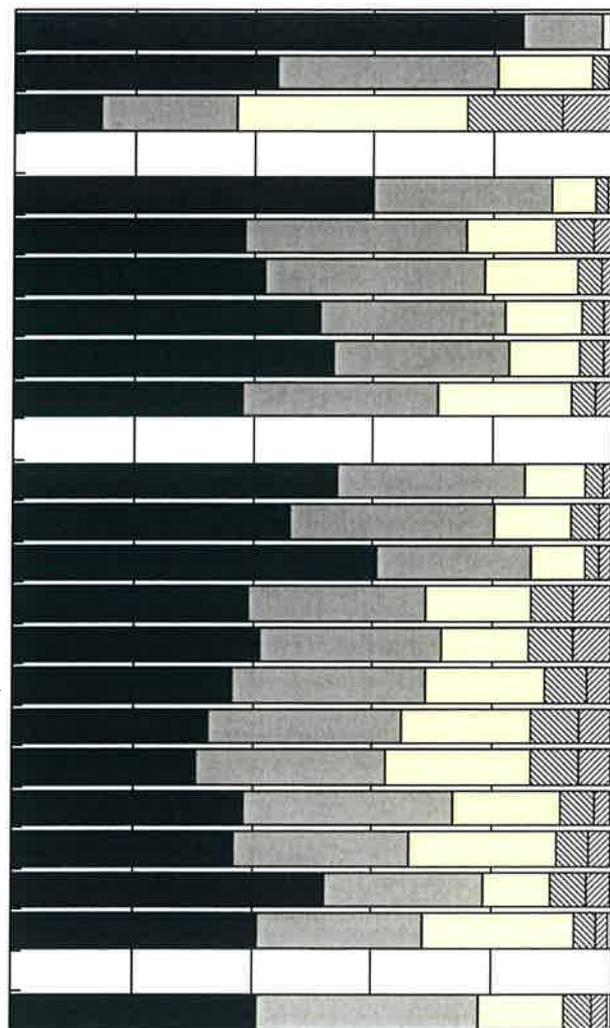
教員の取り組みへの評価

- 7 教員は授業に対して熱意や意欲があった
- 8 教員はよく準備された授業をおこなっていた
- 9 教員はこの科目を担当するに値する経験や知識をもっていた
- 10 教員は授業内容をわかりやすく説明していた
- 11 教員は聞き取りやすい話し方をしていた
- 12 教員は教科書・板書・視聴覚機器などを効果的に使用していた
- 13 教員は学生の理解に合わせた授業をしていた
- 14 教員は学生の反応や意見を活かした授業をしていた
- 15 教員は授業を受けやすい環境をつくっていた
- 16 教員は適切に課題を出していた
- 17 教員は授業時間を守っていた
- 18 教員は授業を受ける上で参考になるシラバスを作っていた

III 総合評価

総合的に判断して私はこの授業を高く評価する

0% 20% 40% 60% 80% 100%



よくあてはまる
  ややあてはまる
  どちらでもない
  あまりあてはまらない
  全くあてはまらない
  無回答

学科名：理学療法

対象教員数：16

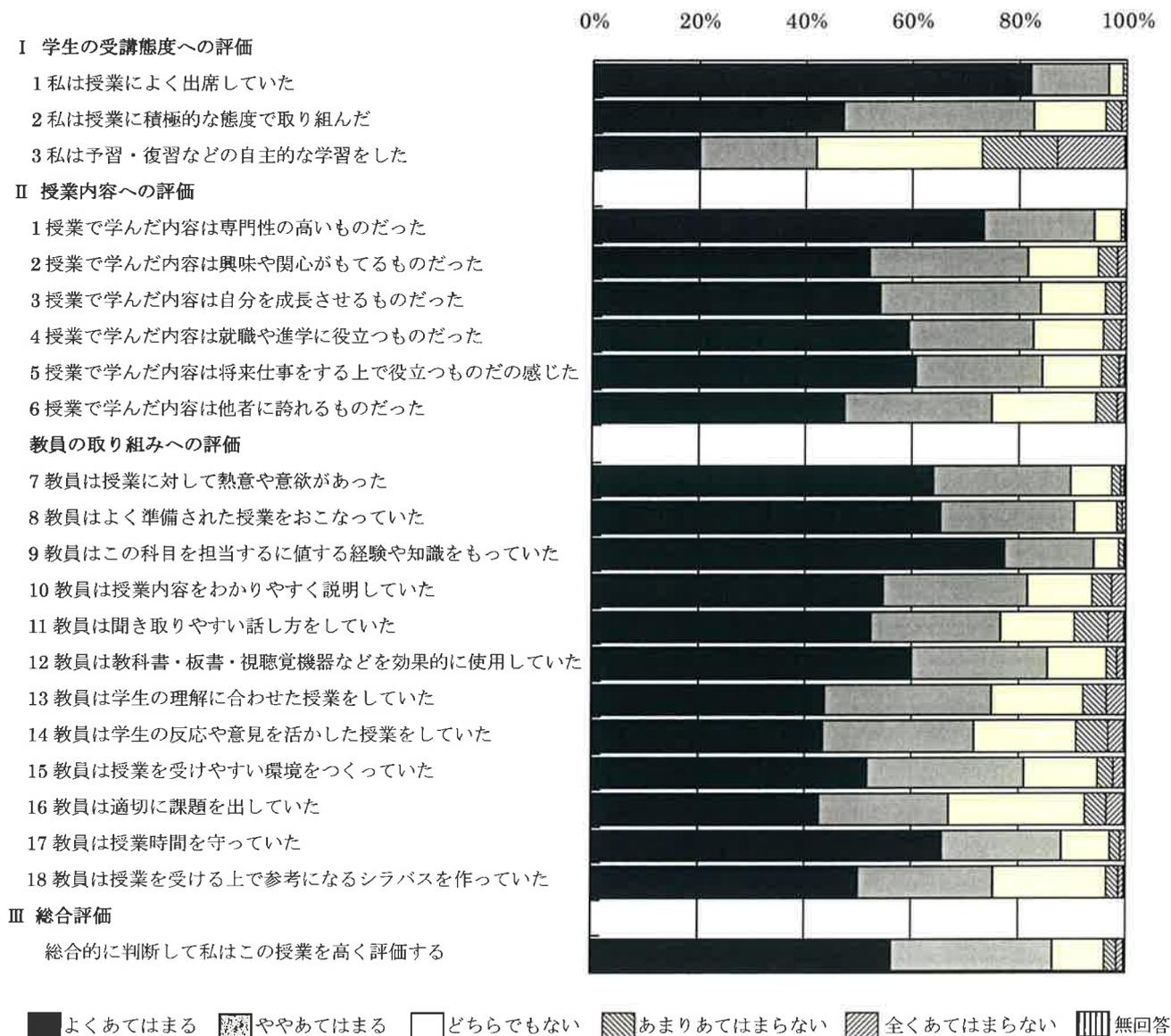
対象科目数：60

対象学生数（延べ人数）：2074

EST カテゴリーの平均値（標準偏差）

EST カテゴリー	配点	平均値（標準偏差）	100点換算
I 学生の授業態度への評価	15	12.2 (2.1)	81.3
II 授業内容への評価	30	26.2 (4.5)	87.3
III 教員の取り組みへの評価	60	51.6 (8.6)	86.0
III 総合評価	5	4.4 (0.8)	88.0

分布比率



学科名：作業療法

対象教員数：12

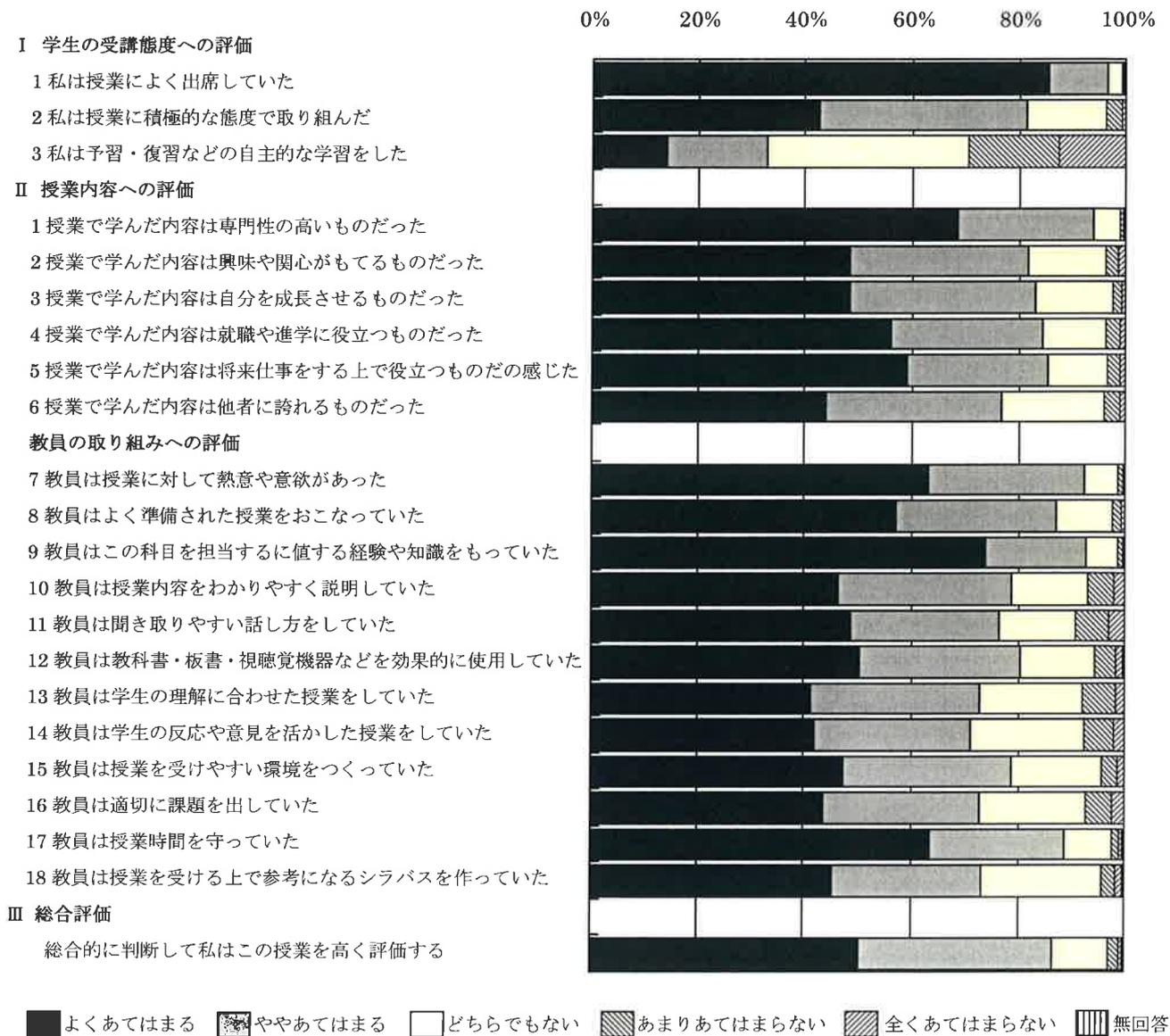
対象科目数：32

対象学生数（延べ人数）：1437

EST カテゴリーの平均値（標準偏差）

EST カテゴリー	配点	平均値（標準偏差）	100点換算
I 学生の授業態度への評価	15	12.1 (2.0)	80.7
II 授業内容への評価	30	26.0 (4.2)	86.7
III 教員の取り組みへの評価	60	51.0 (8.5)	85.0
III 総合評価	5	4.3 (0.8)	86.0

分布比率



学科名：社会福祉

対象教員数：22

対象科目数：50

対象学生数（延べ人数）：2280

EST カテゴリーの平均値（標準偏差）

EST カテゴリー	配点	平均値（標準偏差）	100点換算
I 学生の授業態度への評価	15	11.3 (2.4)	75.3
II 授業内容への評価	30	22.9 (5.5)	76.3
III 総合評価	5	4.0 (1.0)	80.0

分布比率

I 学生の受講態度への評価

- 1 私は授業によく出席していた
- 2 私は授業に積極的な態度で取り組んだ
- 3 私は予習・復習などの自主的な学習をした

II 授業内容への評価

- 1 授業で学んだ内容は専門性の高いものだった
- 2 授業で学んだ内容は興味や関心をもてるものだった
- 3 授業で学んだ内容は自分を成長させるものだった
- 4 授業で学んだ内容は就職や進学に役立つものだった
- 5 授業で学んだ内容は将来仕事をする上で役立つものなのを感じた
- 6 授業で学んだ内容は他者に誇れるものだった

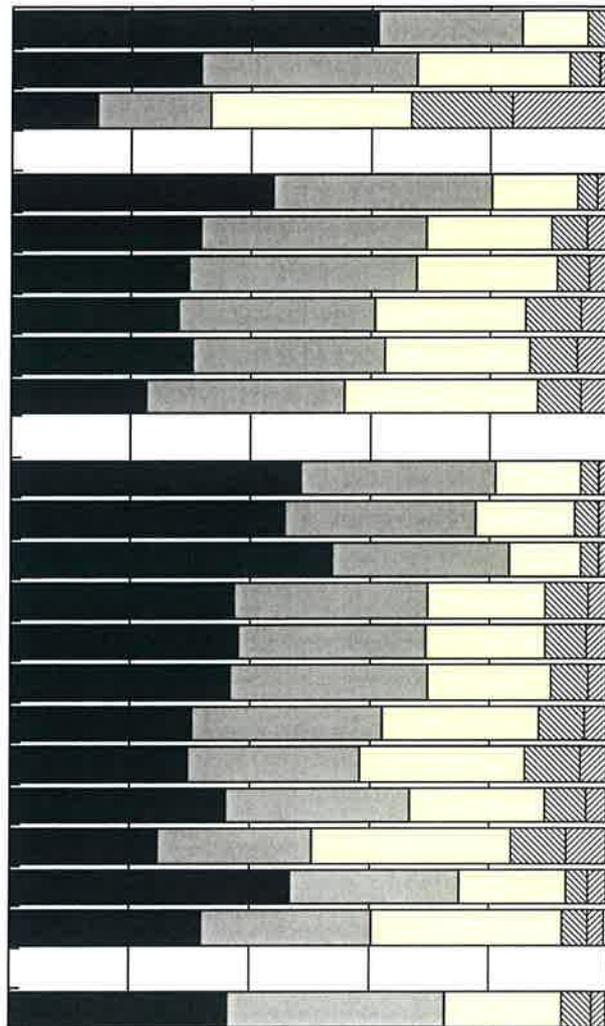
教員の取り組みへの評価

- 7 教員は授業に対して熱意や意欲があった
- 8 教員はよく準備された授業をおこなっていた
- 9 教員はこの科目を担当するに値する経験や知識をもっていた
- 10 教員は授業内容をわかりやすく説明していた
- 11 教員は聞き取りやすい話し方をしていた
- 12 教員は教科書・板書・視聴覚機器などを効果的に使用していた
- 13 教員は学生の理解に合わせた授業をしていた
- 14 教員は学生の反応や意見を活かした授業をしていた
- 15 教員は授業を受けやすい環境をつくっていた
- 16 教員は適切に課題を出していた
- 17 教員は授業時間を守っていた
- 18 教員は授業を受ける上で参考になるシラバスを作っていた

III 総合評価

総合的に判断して私はこの授業を高く評価する

0% 20% 40% 60% 80% 100%



よくあてはまる
  ややあてはまる
  どちらでもない
  あまりあてはまらない
  全くあてはまらない
  無回答

学科名：子ども福祉

対象教員数：14

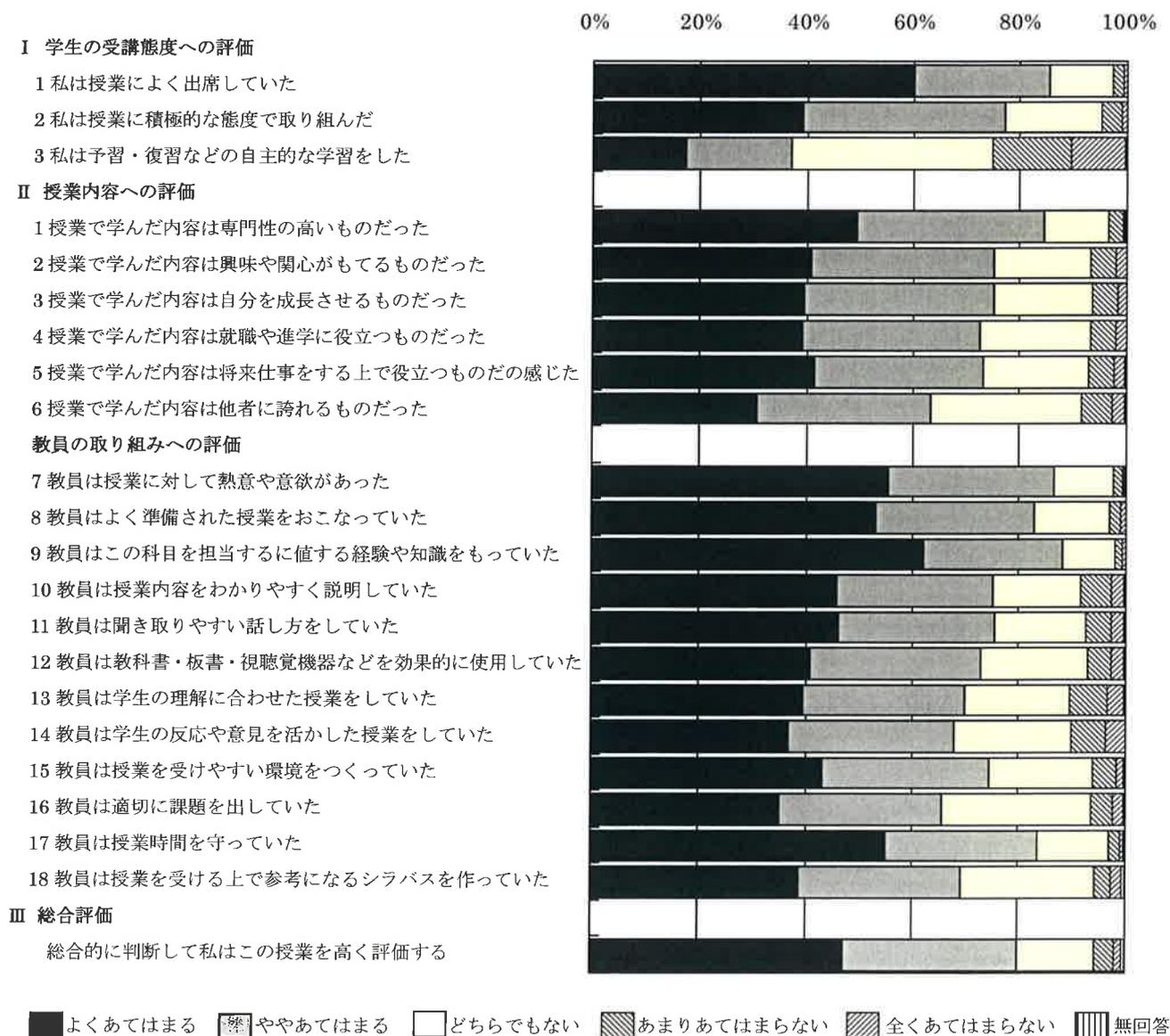
対象科目数：61

対象学生数（延べ人数）：1947

EST カテゴリーの平均値（標準偏差）

EST カテゴリー	配点	平均値（標準偏差）	100点換算
I 学生の授業態度への評価	15	11.7 (2.3)	78.0
II 授業内容への評価	30	24.4 (5.0)	81.3
III 総合評価	5	4.2 (0.9)	84.0

分布比率



学科名：国際環境

対象教員数：12

対象科目数：40

対象学生数（延べ人数）：1194

EST カテゴリーの平均值（標準偏差）

EST カテゴリー	配点	平均值（標準偏差）	100点換算
I 学生の授業態度への評価	15	11.8 (2.7)	78.7
II 授業内容への評価	30	22.8 (5.7)	76.0
III 教員の取り組みへの評価	60	47.4 (11.5)	79.0
III 総合評価	5	4.0 (1.1)	80.0

分布比率

